

廣福寺だより

2021年6月



釈迦如来像（広福寺本堂余間）

「新型コロナウイルス」ということばを初めて聞いてから、間もなく一年半になります。様々な行事や集まりがなくなり、行動が制約されて、何かメリハリのない毎日が続いています。

本山の「ともしび」の編集会議のために、以前は毎月上洛していたのですが、ずっとパソコンを前にしたりリモート会議です。

わたし 迷って

なんかいない

そう 思いながら

同じところを

ぐるぐる

回っていた

わたしの人生

あぶない！

これは本山の脇の通りに毎月掲示される「八行標語」のために考えたことばです。

鉢の縁にのせられた尺取り虫が同じ所を廻り続けるように、私たちが空しく日々を過ごしてしまうことを、仏教では「空過」（くうか）といいます。あつという間に過ぎていく自分の人生の姿に目覚めよと、お念仏は響くのです。

梵鐘講 本山差向布教

三月九日（火）に梵鐘講・本山差向布教が行われました。今年は弥彦村井田の照瑞寺ご住職、日野宣也師がお越しくださいました。以下は要旨です。

無慚無愧のこの身にて

まことのこころはなけれども

弥陀の回向の御名なれば

功德は十方にみちたまう

『愚禿悲嘆述懐和讃』

本日はご讃題のなかの弥陀回向のみ名についてお話ししたいと思います。回向と申しますのは阿弥陀様の側より私たちに与えられたものなのだという事です。

先ほどのおつとめで唱和しました「正信偈」を正しくは「正信念仏偈」と申すわけですが、正信とは正しく信ずるということです。では正しくない心での念仏とはどんなものでしょうか。本願寺の蓮如上人は三つお示くださいました。

一つは「傍信」です。傍らにするということ。簡単に言えば念仏することが自分の人生の中心にないということです。一貫性がない、場当たりに念仏しているということです。皆さんの中でこれは一番大事だ

というものはなんでしょう。お金、健康、家族、仕事でしょうか。人生を貫く大事なものとわかれてもなかなかぴんと来ない。大体の人がとりあえず目の前にある現実を一生懸命生きてきたといったところじゃないでしょうか。自分の中心を貫くものが念仏ではない在り方を「傍信」と言うのです。反対に言えば自分の中心にお念仏がある生き方を「正信」というのです。

二つ目は「邪信」です。よこしまな心で念仏するという事。南無阿弥陀仏と念仏を称えながら自分の願いや欲求を満たそうとする心で念仏をすることです。腹を立ててしまつてこの心を静めてほしくて南無阿弥陀仏と称えてみたり、自分の中によくないところがあつてそれを直してもらおうと念仏してみたり。これはよこしまな心ですね。病気を治してくださいと念仏申す。な



日野宣也師

にか呪文やまじないのようですね。念仏を利用するようなもの。こういうたものを「邪信」と申します。

三つめは「雑信」です。余計なものが混じっているということ。余計なものとは人間の心が混じっているということ。なにか念仏に努力を足してみたりや、念仏で救われていくのに物々交換のような、助けられるためにこちらからもなにか差し出さなきゃいけないんじゃないかと思う心のことをいいます。

親鸞聖人の弟子たちの間でこのような問答があつたそうです。念仏するからには沢山称えた方がいいとする「多念」の側と、まごころを込めた一回の念仏でよいとする「一念」の側の問答です。

それに対して親鸞聖人は、一念も多念も人間のはからいが混じっている以上どちらか雑だとおっしゃつた。さらに、「多念の念仏でも多念にもあらず、一念にもあらず、ただ念仏往生だ」と申されました。念仏していくことが往生なのだという事です。ただ念仏なのです。人間のはからいが混じっていることが「雑」というのです。

親鸞聖人は、ご讃題の和讃の弥陀回向の部分から、私たちの「傍」とか「邪」とか「雑」といった信を翻させようとしたのです。弥陀回向ですからこちらから何も持つていく必要がないのです。阿弥陀様からいただくものなのです。これを不回向と法然上人は申しました。こちらから登っていく

とか、努力を要するなんてことは言っておられないのです。阿弥陀様の方から私たちの方に近づいてきてくださる。南無阿弥陀仏と称えるということは阿弥陀様の側からやって来られるということ。

浄土真宗は易行道いざよつどうと言われる。行きやすいということ。阿弥陀様の方から来てくださるわけですから行きやすいですね。そして易往いおう而無人むにんと言われる。無人とは無条件だということ。その人がどういふ人かは問わないということです。行きやすく人を問わない。

「うつろい」ことを学んでいくと先ほど申しました邪とか雑といった信が翻ひるがえつていく。翻つていくと私の傍らにあった念仏が、生き方の中心になっていくのです。今度は世間が傍らになるといふことです。中心が変わるのです。蓮如上人は仏法は世間の暇を欠いても聞くべしとおっしゃいました。仏法が中心になると世間のことが暇になる。

この世界は自分の思いはからいや意思を超えて縁起によって成り立っていくと考えるのが仏教です。良寛の「災難に逢う時節には災難に逢うがよく候」といふことばのように、この世のことはすべて因縁によって成り立っているのだと受け止められるようになることが、世間が暇になるといふことなのです。これが弥陀回向の御名の大変な功德なのです。

涅槃会

三月十五日(月)に涅槃会ねはんえがつとまりました。涅槃会とはお釈迦様のご命日の法要です。一般的には二月十五日に行うところが多いようですが、広福寺では昔から雪の時期を避けて三月につとめています。

昨年は新型コロナウイルスの感染拡大もあり、寺族のみでの内勤めでしたが、今年は感染対策をしながら皆様方と共におつとめさせていただきました。

お釈迦様が亡くなられた時の様子を描いた「釈迦涅槃図」の掛け軸の前に檀を作り、仏説阿弥陀経のおつとめをしました。おつとめの後は、当院、心光寺、住職の順に法話をさせていただきました。

参詣者には涅槃だんごをお配りしました。これも昔からの習わしです。



彼岸会

三月二十日(土)に春期彼岸会がつとまりました。

春と秋のお彼岸の時期に合わせ、本堂に「二河白道図」(にがびやくどうず)の掛け軸を出してお参りをします。火の河と水の河の真ん中にある細い道を歩んでいく行者が描かれております。火と水はそれぞれ人間の激しい煩惱をあらわし、白道は阿弥陀様の導きによる道を表現しています。煩惱の河に堕ちないように、後ろからはお釈迦様に励まされ、前からは阿弥陀様に導かれ、向こう岸(彼岸)に渡っていく(この世界を生き抜いていく)私たちの姿が描かれています。



二河白道図
左側が阿弥陀様、右側がお釈迦様

聞法会会員募集

広福寺では教化活動の一つとして聞法会を開催しています。
今年度より開催時間を変更しました。ご要望などを取り入れ、
下記の通り、日中の開催といたしました。

日時 6月29日(火)
(7月以降は電話で連絡します)
午後3時～5時頃
ぶっせつあみだきょう
(お経の練習、『仏説阿弥陀経』講義)

講師 木村俊尚師(月瀉・梵行寺住職)

【問合せ】 広福寺 0256-94-2437

今後の予定

- ・ 6/15(火)
- ・ 7/20(火)
- ・ 8/17(火)

時間 19:30～20:30
参加費 1,000円
持ち物 ヨガマットorバスタオル

申込不要 お気軽にご参加下さい

リラックスヨガ

冬季の間お休みしてまいりましたが、四月より「リラックスヨガ」を再開しております。今年度も毎月第三火曜夜に開催しています。

年齢・性別問わず、いつでもお気軽にご参加ください。



広大会の様子

昨年十二月から今年の四月までの広大会の様子です。

毎年三月は六年生の卒業のお祝いを兼ねてホットケーキ作りをしていましたが、今年は六年生がいなかったため違う活動を行いました。最後に一年間の修了記念としてお菓子セットをプレゼントしました。

四月は「宝さがし」を行いました。おもちゃの金貨と宝石を百個以上隠しました。小さい子も高学年の子も一生懸命に探してくれて大いに盛り上がりました。



広大会の予定

6/19(土)

シャボン玉

7/17(土)

スライム作り

8/8(日)

夏のイベント

9:30~11:00頃まで



お知らせ

◎一万二千円の勸金のお願い

一戸あたり一万二千円の勸金をお願いしております。本山・新潟教区の負担金、寺の教学、寺務、管理営繕費となります。

◎二千円の墓地管理費

広福寺墓地にお墓がある方。勸金と同時に納入いただける方はよろしくお願いたします。

◎本山特別護持金のお願い

昨年のお便りにてご案内の通り、本山佛光寺では二〇二二年度に「慶讃法会」を勤修いたします。つきましては昨年度(二〇二〇)と今年度(二〇二二)の二か年に渡り、三千円ずつ、計六千円の納入をお願いいたしております。すでに納めていただいた方には改めてご協力に感謝申し上げます。



第三十二代門主 紫香華院殿 惠照尼公 御葬儀
御会葬並びに御香儀の御礼

慈光照護のもと、愈々御健勝のこととお慶び申し上げます。
平素は本山の護持発展にご支援ご協力を賜り有り難く厚く御礼申し上げます。

さて、昨年十一月十二日、前御門主 惠照様が九十五歳を一期として御往生され、同十六日、御内事にて密葬を、続けて十二月二十五日、大師堂にて宗門葬を執り行いました。

コロナ禍のもと、人数を制限しての御葬儀ではございましたが、幸い天候にも恵まれ、御親族を始め全国から宗派役職者、御住職、寺族、御門徒など多くの方々に御会葬を賜り、厳かに滞りなくお勤めをさせて戴きました。

これ偏に、惠照様のお人柄と御功績は基より、多くの皆様方の御懇念の賜物と心より厚く御礼申し上げます。

また、御葬儀に際しましては、御鄭重なる御弔意と御香儀を賜り誠に有り難うございました。本来ならば、拝眉の上、御礼の御挨拶を申し上げるべきところではございますが、略儀ながら本状にて御挨拶とさせていただきます。

合掌

令和三年二月

真宗佛光寺派 宗務総長 佐々木亮一

追伸 心ばかりの記念の品をご同封いたしましたのでお納めください。

昨年往生されました本山佛光寺惠照前門主の宗門葬に際しまして、広福寺も勸金から御香資（拾万円）を出させていただきました。

平成二十三年の宗祖親鸞聖人七五〇回大遠忌法要の団体参拜にご門徒の皆様と参加した折の惠照様のお元気なお姿が偲ばれます。

本山佛光寺宗務総長 佐々木亮一氏から届いた礼状を掲載いたします。

佛光寺チャンネルのご案内

昨年の五月より、本山佛光寺ではweb上で法話を聴くことができる「佛光寺チャンネル」を開設しております。佛光寺派布教使による法話を聞くことができます。

皆様方の聞法の一助になることを願っております。どうぞご聴聞ください。

詳細は本山佛光寺のホームページをご覧ください
<http://www.bukkoji.or.jp/>



佛光寺チャンネルの画面

2020年度 広福寺勸金決算書

単位 (円)

【収入の部】

科 目	決 算 額
勸 金	3,520,000
雑 収 入	11,399
繰 越 金	126,752
計	3,658,151

【支出の部】

科 目	金 額	内 訳
1.寺務経常費	3,000,846	
(1) 負担金等	826,210	本山護持金 教区費 ともしび代 光寿堂維持管理費 本山御仏供米料
(2) 事務通信費	202,582	コピー機リース代 印刷費 郵送費 用紙代
(3) 会議費	43,200	世話方総代会議
(4) 教化費	694,331	本山御使僧様法礼 報恩講・女性講法礼 聞法会補助 本山佛光寺恵照前御門主様御香資 広大会補助 カレンダー代 広福寺だより 口ウソク・焼香炭等
(5) 営繕管理費	1,169,023	火災共済 消防設備保守点検 セコム 電気代 灯油代 内陣電球 スリッパ コロナ対策用品 庭木剪定・冬囲い・ 掃除等
(6) 門徒交際費	65,500	新門徒御本尊贈呈2軒
2.積立金	300,000	営繕管理費等の積立
計	3,300,846	

総収入3,658,151-総支出3,300,846=357,305 (次年度へ繰り越し)

2021年度 広福寺勸金予算書

単位 (円)

【収入の部】

科 目	予 算 額
勸 金	3,400,000
雑 収 入	1,000
繰 越 金	357,305
計	3,758,305

【支出の部】

科 目	予 算 額
寺務経常費	3,200,000
積 立 金	300,000
予 備 費	258,305
計	3,758,305



◎九十歳・百歳のお祝い
 数え年または満で九十歳
 ・百歳になられた方に、本
 山から「祝詞」と記念の
 「朱杯」が贈られます。
 ご氏名、生年月日を広福
 寺へお知らせください。広
 福寺からは額をお贈りして
 います。

お知らせ

行事案内

永代経法要

6月6日(日)

午前10時 勤行
法話
正午 解散 (お弁当持ち帰り)



お斎の代わりにお弁当をご用意いたします。

お参りされる方は5/31(月)までに広福寺にお申し込み
ください。

広福寺 0256-94-2437

法中講(浜組法中7ヶ寺)

6月23日(水)

※今年の法話は3か寺のみとさせていただきます。

午前10時 勤行
法話(広海寺様、本光寺様、萬因寺様)
午前11時半 勤行・御書拝読
正午 解散



※お斎・お弁当はありません。申し込みは不要です